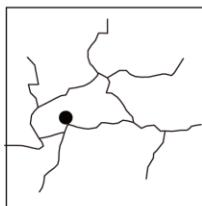


## 中央アフリカ共和国



### 凡 例

- 首 都
- ◎ 主要都市

## (一般指標)

国 名 (英 名)	中央アフリカ共和国 (CAF : Central African Republic)
国 土 面 積 万 ha	6,230 (日本の約1.7倍)
人 口 万人	457.5 人口密度 7.3人／km <sup>2</sup> (2012年)
首 都 名 (英名)	バンギ (Bangui)
首 都 人 口 万人	67.2 (2007年)
主 要 言 語	フランス語 (公用語)、サンゴ語
宗 教	キリスト教80%、イスラム教10%、伝統信仰10%
国連加盟年月	1960年9月20日
通 貨 单 位	CFAフラン 1米ドル=493.058 (2013年7月)
国民総所得：GNI 億米 <sup>ドル</sup>	21 (2010年)
一人当たりGNI 米 <sup>ドル</sup>	470 (2010年)
主要産業	鉱業 (ダイヤモンド)、農林業 (木材、綿花)
日本から輸出 億円	3 (2011年) (一般機械、自動車部品)
日本 の 輸 入 億円	1.2 (2011年) (木材80.2%、蜜蝋)
土 地 利 用 万ha	耕 地 204 (3.3%) (2009年現在)
	森 林 2,264 (36.3%) (2009年現在)
	牧場・牧草地 320 (5.1%) (2009年現在)
度 量 衡	メートル法
祝 祭 日	3月29日バルテレミー・ボガンダの命日、8月13日独立記念日、12月1日国の祝日
気 候	国土全体が熱帯気候 (Aw) で一年を通じて高温である。雨季は5～7月と10～11月の2回。ただし、北から南に向かうほど雨期が長くなり、降水量も多くなる。標高600m以上の高原地帯が大部分で、北部と中部はサバンナ、南部は熱帯雨林。バンギ: 1月24.5°C 7月24.7°C 年平均気温25.5°C、年降水量1,289.3mm

(森林指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	22,605
森林率	%	36.0
森林変動率 (2005-2010)	%	-0.1

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m <sup>3</sup>	3,776
ha 当たり森林蓄積	m <sup>3</sup>	167

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	2.0
森林面積に対する割合	%	-

(森林所有者)

公的機関	%	91.0
民間	%	9.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	2,861
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	-4.0

#### (森林・林業行政組織)

中央アフリカ共和国で森林行政を担うのは水・森林・狩猟・水産・環境省 (MEFCPE) である。MEFCPE の役割全体は 1982 年以降変わっていないが、政治的不安定さから指導部が頻繁に交代している。例えば、2003 年から 2008 年までに 10 人の大臣が就任している。MEFCPE は「林業・水に関する一般委員会」及び「野生生物・保護地域局」を通じて森林管理・保全及び森林資源モニタリングを担っている。また、MEFCPE は林業及び野生生物関係局を通して森林法を遵守している。「森林調査・管理計画局」は森林の調査と森林管理計画を担当している。MEFCPE の職員数は中央、地方を合わせて 2008 年現在 190 名である。

#### (森林・林業政策)

中央アフリカ共和国は貧困削減戦略の一環として、政府の森林政策の目的を森林と野生生物資源の透明性を増すことより魅力的な環境ビジネスを創造することに置いている。1989 年に採用された森林政策を改訂し、森林の潜在性と利用の合理化を図り、生物多様性を保護し、砂漠化防止に取組み、森林の経済成長及び雇用創造に果たす役割を増大させるという森林の持続的管理政策を展開中である。

新たな森林法は 1990 年森林法を置き換えるものであり、様々な利害関係者を含む参加型手法を通じて準備され、2008 年 10 月 17 日に公布された。2008 年には新たな環境法も施行された。いくつかの改正が行われたが、主なものは①国境検査官の任命、移動林業・野生生物検証組織の設置である。この目的は、木材の移動を管理し、林業・野生生物収入を確保し、監視能力を向上させることである。2008 年に施行されたもう一つの布告は MEFCPE の中に林産業監視機関の設置である。この目的は意思決定を支援し木材産業に信頼できる情報を提供することである。2009 年には森林法の実施のモダリティー及び木材コンセッションの配分に関する 2 つの布告が出された。

中央アフリカ共和国政府はコンゴ盆地における持続的森林管理に係る地域イニシアティブ、特に COMIFAC を通じて積極的に関与している。

#### (森林の現状)

中央アフリカ共和国は北部コンゴ盆地に位置し、3 つの生物-地理的ゾーンを有する。それらは南から北へ次のとおりである。

- ・湿生ギニアゾーン

年間降雨量 1,500–1,800mm で、密な湿生林である。

- ・スーダノーギニアゾーン

散在する準湿生林と疎乾燥林、サバンナである。

- ・サヘルゾーン

年間降雨量 800mm 以下で、乾燥サバンナである。

FRA2010によれば、中央アフリカ共和国の 2010 年現在の森林面積は 2,261 万 ha であり、国土面積に対する割合は 36% である。このうち、原生林面積は 237 万 ha で 森林面積の 10% に過ぎない。1990 年から 2010 年までの森林減少は 59 万 ha であり、 年間では平均 2.95 万 ha、率では 0.13% の減少となっている。

中央アフリカ共和国の森林タイプは多様である。主要な閉鎖林のタイプは準落葉熱 帯雨林であり、国の南西部と南東部に分布している。これらの大部分は未開発である。 南西部の準落葉樹林はコンゴ盆地の一部を形成し、およそ 520 万 ha の面積があり、 アフリカの中でも最も樹種が豊富である。付加価値の高い樹種としては、*Terminalia superb*(limba) 、 *Entandrophragma cylindricum* (sepelli) 、 *Triplochiton scleroxylon*(ayous)などがある。ゴリラ、森林像などの大型哺乳類も生息している。

南西部森林の全立木蓄積量は 1991 年から 93 年に行われた調査によれば、127 百万 m<sup>3</sup> と推計される。閉鎖林の北部は森林からサバンナへの移行地帯であり、東西に広が っている。しかしながら、最も広い森林はサヘル地帯へつながる疎林サバンナであり、 17 百万 ha の面積である。

#### (人工造林)

FRA2010によれば、2010 年現在の人工林は 2,000ha である。主な造林樹種である *Hevea brasiliensis*(rubber) の造林地が 1,000ha 存在する。2005 年以降の植林に関する 報告はない。様々な熱帯広葉樹、例えば *Tectona grandis* と *Gmelina arborea* の試 験地は良好な成長を見せており、規模は大きくはない。コミュニティーのための薪 炭材樹種、例えばユーカリ類、*Acacia mangium*、*Cassia siamea* が荒廃地における 重要な樹種である。乾燥地において森林の外に植栽される重要な樹種としては、イン ドセンダン(neem)、*Butyrospermum parkii*(karate)、*Anacardium excelsum*、*Acacia*

*albida* (ibid) などがある。

1990 年森林法は造林クライテリアに関し特別の規定を設けた。それは、抜き伐りを避け天然更新を助長するよう伐採の量的制限を設けた。それに対し、2008 年森林法は森林管理計画に関する一般的ガイダンスとなるものである。それは長期森林管理計画を基本としている。

閉鎖林にはおよそ 300 種の伐採可能な樹種があるが、わずか 34 種類のみが収穫されている。そのうち主要なものは以下の 5 種で収穫量の 85%を占める。

- *Entandrophragma cylindricum* (sapelli) 年間生産量 ----- 30 万 m<sup>3</sup>
- *Triplochiton scleroxylon*(ayous)----- 9 万 m<sup>3</sup>
- *Aningeria* spp. (aniegre-longhi)----- 3 万 m<sup>3</sup>
- *Entandrophragma utile* (sipo) ----- 2.5 万 m<sup>3</sup>
- *Chirophora excels* (iroko) ----- 2 万 m<sup>3</sup>

#### (林産業)

中央アフリカ共和国の丸太生産量は 2008 年には 3 百万 m<sup>3</sup> と概算され、そのうち少なくとも 2.0 百万 m<sup>3</sup>は薪炭材である。高付加価値の木材生産は少ない。すなわち、2009 年には用材生産は 53 万 m<sup>3</sup> である。製材生産は 9.5 万 m<sup>3</sup> である。丸太輸出量は 2004 年の 9.3 万 m<sup>3</sup> から、2009 年には 8.1 万 m<sup>3</sup> に減少した。これは、製材品の輸出増大に関係している。主要輸出国は中国・香港 (37%)、E U (40%)、トルコそしてカメリーンである。

木材生産は伐採許可証 (PEA) を付与された大規模コンセッションにより行われている。2008 年森林法によれば、伐採は 10ha 以下の生産林で許可される。許可証は毎年更新される。PEA は以前は一回取得すれば永久に有効であったが、現在は 1 伐採期間 (通常は 30 年間) のみ有効である。2010 年時点では 12 の木材会社が南西部 2.3 百 m<sup>3</sup> の地域でコンセッションを付与されている。森林コンセッションのサイズは 15.6 万 ha から 47.5 万 ha まで様々である。

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

年次	薪炭用	用 材				原木生産量	
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	合計	
2006	2,000	538	—	308	846	2,846	
2010	2,000	533	—	308	841	2,841	

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量（2010）

単位：数量万 m<sup>3</sup>、金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	—	—	7.7	4,068.3
製 材	—	—	2.1	1,785.6
合 板	—	—	—	—

出典：ITTO,2011, Status of Tropical Forest Management(2011)